



Amazon S3 ストレージのドキュメント

Amazon S3 storage

NetApp
October 06, 2025

目次

Amazon S3 ストレージのドキュメント	1
NetAppコンソールの Amazon S3 ストレージの新機能	2
2025年10月6日	2
BlueXPはNetAppコンソールになりました	2
2023年3月5日	2
BlueXPから新しいバケットを追加する機能	2
始めましょう	3
Amazon S3 バケットの表示	3
S3バケットを管理する	4
S3バケットを追加する	4
S3バケット設定を変更する	4
バージョン設定の変更	5
バケット内のオブジェクトのタグを追加または変更する	5
暗号化設定を変更する	6
S3バケットでNetAppデータサービスを使用する	7
知識とサポート	9
サポートに登録する	9
サポート登録の概要	9
NetAppサポートのためにNetAppコンソールに登録する	9
Cloud Volumes ONTAPサポートにNSS 認証情報を関連付ける	11
ヘルプを受ける	13
サポート登録の概要	13
NetAppサポートのためにNetAppコンソールに登録する	13
Cloud Volumes ONTAPサポートにNSS 認証情報を関連付ける	15
法律上の表示	17
著作権	17
商標	17
特許	17
プライバシー ポリシー	17
オープンソース	17

Amazon S3 ストレージのドキュメント

NetAppコンソールの Amazon S3 ストレージの新機能

NetAppコンソールの Amazon S3 ストレージの新機能について説明します。

2025年10月6日

BlueXPはNetAppコンソールになりました

NetAppコンソールは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズグレードのNetAppストレージとNetAppデータサービスの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、ワークフローの高速化、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、"[NetAppコンソールのリリースノート](#)"。

2023年3月5日

BlueXPから新しいバケットを追加する機能

かなり以前から、BlueXP Canvas で Amazon S3 バケットを表示する機能は提供されてきました。BlueXPから直接新しいバケットを追加したり、既存のバケットのプロパティを変更したりできるようになりました。 "[新しいAmazon S3バケットを追加する方法を見る](#)"。

始めましょう

Amazon S3 バケットの表示

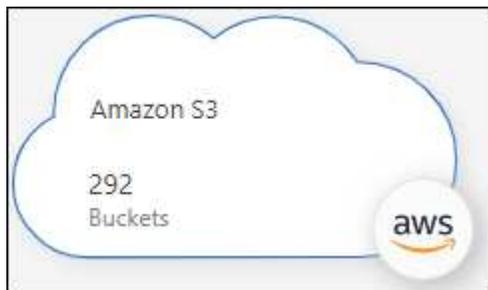
AWS にコンソール エージェントをインストールすると、NetAppコンソールは、コンソール エージェントがインストールされている AWS アカウントにある Amazon S3 バケットに関する情報を自動的に検出できるようになります。この情報を表示できるように、Amazon S3 システムがシステム ページに追加されます。

リージョン、アクセス ポリシー、アカウント、合計容量と使用容量など、S3 バケットの詳細を確認できます。これらのバケットは、NetApp のバックアップとリカバリ、NetApp の階層化、またはNetApp のコピーと同期操作の宛先として使用できます。さらに、NetApp Data Classification を使用してこれらのバケットをスキャンすることもできます。

手順

1. ["コンソールエージェントをインストールする"](#) Amazon S3 バケットを表示する AWS アカウントで。
2. NetAppコンソール メニューから、ストレージ を選択し、次に 管理 を選択します。

しばらくすると、Amazon S3 システムが自動的に表示されます。



1. S3 ストレージでNetAppコンソール サービスを有効にする場合は、システムをクリックし、右側のペインからアクションを選択します。

["利用可能なNetAppコンソール サービスを確認し、S3 バケットでそれらを使用する方法を学びます。"](#)

2. AWS アカウントの S3 バケットの詳細を表示するには、[S3 システムを入力] をクリックするか、システムをダブルクリックします。

デフォルトで表示される列に加えて、ページをスクロールしてバケットの追加プロパティ（タグの数、オブジェクト ロックまたはバージョン管理が有効になっているかどうかなど）を表示できます。

次の手順

NetAppコンソールからバケット設定を直接変更するには、[...バケツ用](#)。"詳細はこちら"。

*バケットを追加*をクリックすると、新しい S3 バケットを追加できます。"詳細はこちら"。

S3バケットを管理する

S3バケットを追加する

Amazon S3 システムが [システム] ページで利用可能になると、NetAppコンソールから直接バケットを追加できます。

手順

1. [システム] ページで、Amazon S3 システムをダブルクリックして [Amazon S3 バケットの概要] ページを表示し、[バケットの追加] をクリックします。

バケットの追加 ページが表示されます。

2. `_バケットの追加_` ページで、バケットを作成するために必要な情報を入力し、*適用* をクリックします。
 - a. バケットに使用する名前を入力します。
 - b. バケットの所有者となる AWS アカウントを選択します。これは、コンソールエージェントが展開されたプライマリアカウント、または ["NetAppコンソールに追加した別のアカウント"](#)。
 - c. バケットが作成される AWS リージョンを選択します。
 - d. オプションで、バケットで S3 オブジェクトロックを有効にして、Write Once Read Many (WORM) モデルを使用してオブジェクトを保存できます。オブジェクト ロックを使用する予定の場合は、バケットの作成時に有効にする必要があります。オブジェクト ロックを有効にすると、バージョン管理も有効になります。 ["Amazon S3 ドキュメントからオブジェクトロックの詳細をご覧ください"](#)。

バケットが作成されます。

次の手順

バケットを最初に追加するときに、バージョン管理、タグ、または暗号化を手動で構成することはできません。バケットを作成した後、バケットのその他のプロパティを構成できます。 ["バケット設定の変更について詳しくは"](#)。

S3バケット設定を変更する

システム ページで Amazon S3 システムが利用できる場合は、NetAppコンソールからバケットの一部のプロパティを直接変更できます。

バケット名、AWS アカウント、リージョン、またはオブジェクトのロック設定は変更できないことに注意してください。

変更できるバケットのプロパティは次のとおりです。

- バケット内のすべてのオブジェクトに対してバージョン管理が有効か無効か。
- バケットに追加されるオブジェクトにタグを適用することを選択できます。
- バケットに追加された新しいオブジェクトが暗号化されているかどうか、および暗号化に使用されるオプション。

これらのバケット設定は、クリックすることで直接変更できます。...バケツ用。

Bucket Name	AWS Account	Region	Creation Date	Encryption	Is Public
compliance-dataset22	7599954	US West (Oregon)	March 1, 2020	Enabled	Bucket and ob
fabric-pool-8b18cf1e-6d64	7599954	US West (Oregon)	March 24, 2020	Enabled	Bucket a
motor-vehicle-bucket01	7599954	US West (Oregon)	June 3, 2020	Enabled	Objects
fabric-pool-a548f122-a681	7599958	US West (Oregon)	June 5, 2020	Enabled	Objects
motor-vehicle-bucket64	7599958	US West (Oregon)	June 10, 2020	Enabled	Objects

バージョン設定の変更

バージョンングを使用すると、バケット内にオブジェクトの複数のバージョンを保持できるため、誤って削除または上書きされたオブジェクトを復元できます。今後オブジェクトがバケットに追加されるときに、そのオブジェクトのバージョン管理設定を変更できます。バージョン設定を変更しても、既存のオブジェクトの値は変更されません。

バケットの作成時にオブジェクト ロックを有効にしない限り、新しいバケットではバージョン管理はデフォルトで無効になっています。"[Amazon S3 ドキュメントからバージョン管理の詳細をご覧ください](#)"。

有効にすると、バージョン管理を一時的または永続的に停止する場合は、「一時停止」状態を選択できます。バージョン管理は一度有効にすると無効にすることはできません。

Versioning

You can enable the creation of object versions for all future objects added to the bucket.

Disabled

Enabled

Apply Cancel

バケット内のオブジェクトのタグを追加または変更する

タグは、リソースをグループ化してアプリケーション、環境、リージョン、クラウド プロバイダーなどを識別するために使用できるメタデータです。タグはタグ キーとタグ値で構成されます。バケットにタグを追加すると、オブジェクトがバケットに追加されたときにタグがオブジェクトに適用されます。タグやタグ値を変更したり削除したりすることもできます。

NetAppコンソールによって作成された新しいバケットでは、タグはデフォルトで無効になっています。"[タグ付けの詳細については、Amazon S3 ドキュメントをご覧ください](#)。"。

Tags

Tags are metadata that you can use to group resources to identify applications, environments, regions, and more. You can assign up to 10 key/value tags to your bucket.

Tag key **Tag value** [Add new tag](#)

: ×

[Apply](#) [Cancel](#)

タグを追加したら、[適用] をクリックして変更を保存します。さらにタグを追加する場合は、「新しいタグを追加」をクリックします。バケットごとに最大 10 個のタグを追加できます。

暗号化設定を変更する

サーバー側の暗号化により、Amazon S3 の送信先でデータを暗号化できます。Amazon S3 は、データをディスクに書き込むときにオブジェクト レベルでデータを暗号化し、アクセスするときに復号化します。今後オブジェクトがバケットに追加されるときに、そのオブジェクトに使用される暗号化設定を変更できます。

NetAppコンソールによって作成された新しいバケットでは、「Amazon S3 管理キー (SSE-S3)」を使用して暗号化がデフォルトで有効になっています。"[サーバー側の暗号化の詳細については、Amazon S3 ドキュメントをご覧ください。](#)"。

あるいは、「AWS Key Management Service キー (SSE-KMS)」を使用して暗号化を有効にすることもできます。顧客が独自に提供したキー (SSE-C) を使用して暗号化することも可能ですが、この機能はコンソール UI からは使用できません。Amazon インターフェイスを使用する必要があります。

Encryption

Server-side encryption is automatically applied to new objects stored in this bucket. [Learn more](#)

Encryption key type ⓘ

Amazon S3-managed keys (SSE-S3) AWS Key Management Service key (SSE-KMS)

Bucket key ⓘ

Enabled

[Apply](#) [Cancel](#)

「AWS Key Management Service キー (SSE-KMS)」を選択した場合は、すでに作成した AWS KMS キーを選択することも、AWS KMS キー ARN (Amazon リソースネーム) を使用することもできます。

Encryption

Server-side encryption is automatically applied to new objects stored in this bucket. [Learn more](#)

Encryption key type ⓘ

Amazon S3-managed keys (SSE-S3) **AWS Key Management Service key (SSE-KMS)**

AWS KMS key

Choose from your AWS KMS keys **Enter AWS KMS key ARN**

AWS KMS key ARN ⓘ

arn:aws:kms:<region>:<account-ID>:key/<key-id>

Bucket key ⓘ

Enabled

"AWS Key Management Service の詳細については、Amazon S3 ドキュメントをご覧ください。"そして約 "顧客キーとAWSキーの使用"。

S3バケットでNetAppデータサービスを使用する

NetAppコンソールで S3 バケットを検出したら、バックアップ、階層化、分類、データ同期にNetAppデータ サービスを使用できます。

- * NetApp Backup and Recovery* を使用して、オンプレミスのONTAPおよびCloud Volumes ONTAPシステムから S3 オブジェクト ストレージにデータをバックアップします。

開始するには、[システム] ページに移動し、オンプレミスのONTAPまたはCloud Volumes ONTAPシステムを Amazon S3 システムにドラッグ アンド ドロップします。

"ONTAPデータを Amazon S3 ストレージにバックアップする方法の詳細"。

- * NetApp Cloud Tiering* を使用して、オンプレミスのONTAPクラスターから S3 オブジェクト ストレージに非アクティブなデータを階層化します。

開始するには、[システム] ページに移動し、オンプレミスのONTAPシステムを Amazon S3 システムにドラッグ アンド ドロップします。

"ONTAPデータを Amazon S3 ストレージに階層化する方法の詳細"。

- * NetApp Copy and Sync* を使用して、S3 バケットとの間でデータを同期します。

開始するには、「システム」ページに移動し、ソース システムをターゲット システムにドラッグ アンド ドロップします。 Amazon S3 システムはソースまたはターゲットのいずれかになります。

Amazon S3 システムを選択し、[サービス] パネルから [コピーと同期] をクリックして、S3 バケットとの

間でデータを同期することもできます。

["NetApp Copy and Syncサービスの詳細"](#)。

- * NetApp Data Classification* を使用して、S3 バケットをスキャンし、個人データや機密データを探します。NetApp Data Classification は、NetAppソリューション用に作成されたかどうかに関係なく、アカウント内の任意のバケットをスキャンできます。

開始するには、Amazon S3 システムを選択し、[サービス] パネルの [分類] セクションから適切なオプションを選択して、S3 バケットのスキャンを開始します。

["NetAppデータ分類サービスの詳細"](#)。

知識とサポート

サポートに登録する

NetAppコンソールとそのストレージ ソリューションおよびデータ サービスに固有のテクニカル サポートを受けるには、サポート登録が必要です。Cloud Volumes ONTAPシステムの主要なワークフローを有効にするには、サポート登録も必要です。

サポートに登録しても、クラウド プロバイダー ファイル サービスに対するNetAppサポートは有効になりません。クラウド プロバイダーのファイル サービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカル サポートについては、その製品のドキュメントの「ヘルプの取得」を参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)
- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)

サポート登録の概要

サポート資格を有効にするには、次の 2 つの登録形式があります。

- NetAppコンソール アカウントのシリアル番号 (コンソールの [サポート リソース] ページにある 20 桁の 960xxxxxxxx シリアル番号) を登録します。

これは、コンソール内のすべてのサービスに対する単一のサポート サブスクリプション ID として機能します。各コンソール アカウントを登録する必要があります。

- クラウド プロバイダーのマーケットプレイスで、サブスクリプションに関連付けられたCloud Volumes ONTAPシリアル番号を登録します (これらは 20 桁の 909201xxxxxxxx シリアル番号です)。

これらのシリアル番号は一般に *PAYGO* シリアル番号 と呼ばれ、Cloud Volumes ONTAP の導入時にNetAppコンソールによって生成されます。

両方のタイプのシリアル番号を登録すると、サポート チケットの開設やケースの自動生成などの機能が有効になります。登録は、以下の説明に従ってNetAppサポート サイト (NSS) アカウントをコンソールに追加することで完了します。

NetAppサポートのためにNetAppコンソールに登録する

サポートに登録し、サポート資格を有効にするには、NetAppコンソール アカウントの 1 人のユーザーがNetAppサポート サイト アカウントをコンソール ログインに関連付ける必要があります。NetAppサポートに登録する方法は、NetAppサポート サイト (NSS) アカウントをすでにお持ちかどうかによって異なります。

NSSアカウントをお持ちの既存顧客

NSS アカウントをお持ちのNetApp のお客様の場合は、コンソールからサポートに登録するだけです。

手順

1. 管理 > *資格情報*を選択します。
2. *ユーザー資格情報*を選択します。
3. **NSS** 資格情報の追加 を選択し、NetAppサポート サイト (NSS) の認証プロンプトに従います。
4. 登録プロセスが成功したことを確認するには、[ヘルプ] アイコンを選択し、[サポート] を選択します。

リソース ページには、コンソール アカウントがサポートに登録されていることが表示されます。

他のコンソール ユーザーは、ログインにNetAppサポート サイト アカウントを関連づけていない場合、同じサポート登録ステータスを表示しないことに注意してください。ただし、これはあなたのアカウントがサポートに登録されていないことを意味するものではありません。組織内の 1 人のユーザーがこれらの手順を実行していれば、アカウントは登録済みになります。

既存の顧客だが**NSS**アカウントがない

既存のライセンスとシリアル番号を持ち、NSS アカウントを持っていない場合、既存のNetApp顧客は、NSS アカウントを作成し、それをコンソール ログインに関連付ける必要があります。

手順

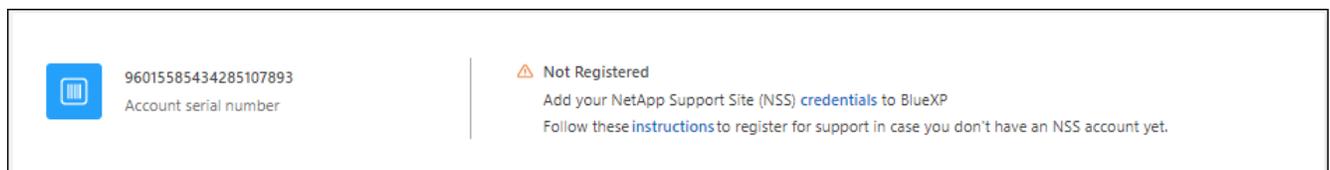
1. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"
 - a. 適切なユーザー レベル (通常は * NetApp顧客/エンド ユーザー*) を選択してください。
 - b. 上記で使用したコンソール アカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより、アカウント処理が高速化されます。
2. 以下の手順を実行して、新しいNSSアカウントをコンソールログインに関連付けます。 [NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

NetAppの新着情報

NetAppを初めて使用し、NSS アカウントをお持ちでない場合は、以下の手順に従ってください。

手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。
2. サポート登録ページからアカウント ID シリアル番号を見つけます。



3. 移動先 "[NetAppのサポート登録サイト](#)"私は登録済みの**NetApp**顧客ではありません を選択します。
4. 必須フィールド (赤いアスタリスクが付いているフィールド) に入力します。
5. 製品ライン フィールドで、**Cloud Manager** を選択し、該当する請求プロバイダーを選択します。
6. 上記の手順 2 からアカウントのシリアル番号をコピーし、セキュリティ チェックを完了して、NetApp のグローバル データ プライバシー ポリシーを読んだことを確認します。

この安全な取引を完了するために、指定されたメールボックスに電子メールが直ちに送信されます。検証

メールが数分以内に届かない場合は、必ずスパム フォルダーを確認してください。

7. メール内からアクションを確認します。

確認すると、リクエストがNetAppに送信され、NetAppサポート サイトのアカウントを作成することが推奨されます。

8. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"

- a. 適切なユーザー レベル (通常は * NetApp顧客/エンド ユーザー*) を選択してください。
- b. 上記で使用したアカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより処理速度が向上します。

終了後の操作

このプロセス中に、NetAppから連絡が来るはずですが、これは、新規ユーザー向けの1回限りのオンボーディング演習です。

NetAppサポートサイトのアカウントを取得したら、以下の手順を実行して、アカウントをコンソールログインに関連付けます。[NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

Cloud Volumes ONTAPサポートに NSS 認証情報を関連付ける

Cloud Volumes ONTAPの次の主要なワークフローを有効にするには、NetAppサポート サイトの認証情報をコンソール アカウントに関連付ける必要があります。

- 従量課金制のCloud Volumes ONTAPシステムをサポート対象として登録する

システムのサポートを有効にし、NetAppテクニカル サポート リソースにアクセスするには、NSS アカウントを提供する必要があります。

- BYOL (個人ライセンス使用) 時にCloud Volumes ONTAP を導入する

コンソールがライセンス キーをアップロードし、購入した期間のサブスクリプションを有効にするには、NSS アカウントを提供する必要があります。これには、期間更新の自動更新が含まれます。

- Cloud Volumes ONTAPソフトウェアを最新リリースにアップグレードする

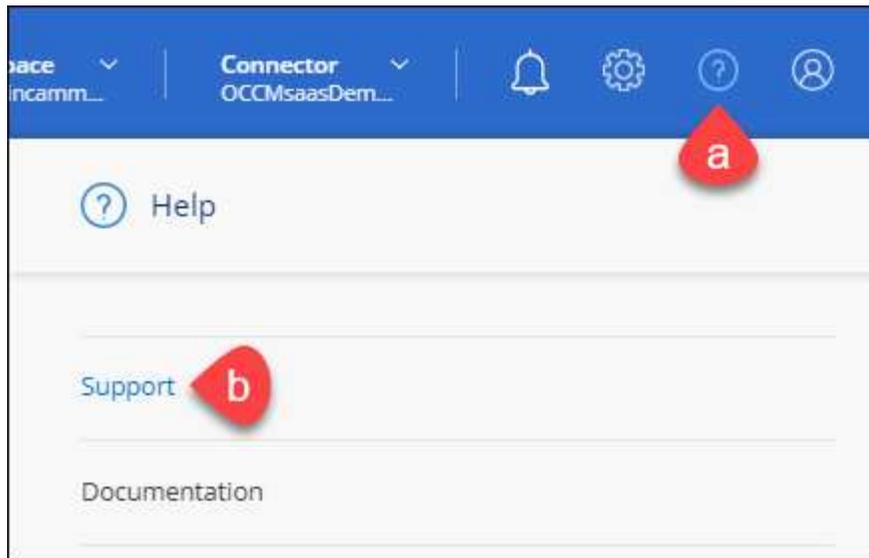
NSS 資格情報をNetAppコンソール アカウントに関連付けることは、コンソール ユーザー ログインに関連付けられている NSS アカウントとは異なります。

これらの NSS 資格情報は、特定のコンソール アカウント ID に関連付けられています。コンソール組織に属するユーザーは、サポート > **NSS** 管理 からこれらの資格情報にアクセスできます。

- 顧客レベルのアカウントをお持ちの場合は、1つ以上の NSS アカウントを追加できます。
- パートナー アカウントまたは再販業者アカウントをお持ちの場合は、1つ以上の NSS アカウントを追加できますが、顧客レベルのアカウントと一緒に追加することはできません。

手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。



2. *NSS管理 > NSSアカウントの追加*を選択します。
3. プロンプトが表示されたら、[続行] を選択して、Microsoft ログイン ページにリダイレクトします。

NetApp は、サポートとライセンスに固有の認証サービスの ID プロバイダーとして Microsoft Entra ID を使用します。

4. ログイン ページで、NetAppサポート サイトに登録した電子メール アドレスとパスワードを入力して、認証プロセスを実行します。

これらのアクションにより、コンソールはライセンスのダウンロード、ソフトウェア アップグレードの検証、将来のサポート登録などに NSS アカウントを使用できるようになります。

次の点に注意してください。

- NSS アカウントは顧客レベルのアカウントである必要があります (ゲスト アカウントや一時アカウントではありません)。顧客レベルの NSS アカウントを複数持つことができます。
- パートナー レベルのアカウントの場合、NSS アカウントは 1 つだけ存在できます。顧客レベルの NSS アカウントを追加しようとしたときにパートナー レベルのアカウントが存在する場合は、次のエラー メッセージが表示されます。

「異なるタイプの NSS ユーザーがすでに存在するため、このアカウントでは NSS 顧客タイプは許可されません。」

既存の顧客レベルの NSS アカウントがあり、パートナー レベルのアカウントを追加しようとする場合も同様です。

- ログインが成功すると、NetApp はNSS ユーザー名を保存します。

これは、メールにマッピングされるシステム生成の ID です。*NSS管理*ページでは、... メニュー。

- ログイン認証トークンを更新する必要がある場合は、... メニュー。

このオプションを使用すると、再度ログインするよう求められます。これらのアカウントのトークンは 90 日後に期限切れになることに注意してください。これを知らせる通知が投稿されます。

ヘルプを受ける

NetAppコンソールとそのストレージソリューションおよびデータサービスに固有のテクニカルサポートを受けるには、サポート登録が必要です。Cloud Volumes ONTAPシステムの主要なワークフローを有効にするには、サポート登録も必要です。

サポートに登録しても、クラウドプロバイダーファイルサービスに対するNetAppサポートは有効になりません。クラウドプロバイダーのファイルサービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカルサポートについては、その製品のドキュメントの「ヘルプの取得」を参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)
- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)

サポート登録の概要

サポート資格を有効にするには、次の2つの登録形式があります。

- NetAppコンソールアカウントのシリアル番号 (コンソールの [サポート リソース] ページにある 20 桁の 960xxxxxxxx シリアル番号) を登録します。

これは、コンソール内のすべてのサービスに対する単一のサポートサブスクリプションIDとして機能します。各コンソールアカウントを登録する必要があります。

- クラウドプロバイダーのマーケットプレイスで、サブスクリプションに関連付けられたCloud Volumes ONTAPシリアル番号を登録します (これらは 20 桁の 909201xxxxxxxx シリアル番号です)。

これらのシリアル番号は一般に *PAYGO* シリアル番号と呼ばれ、Cloud Volumes ONTAP の導入時にNetAppコンソールによって生成されます。

両方のタイプのシリアル番号を登録すると、サポートチケットの開設やケースの自動生成などの機能が有効になります。登録は、以下の説明に従ってNetAppサポートサイト (NSS) アカウントをコンソールに追加することで完了します。

NetAppサポートのためにNetAppコンソールを登録する

サポートに登録し、サポート資格を有効にするには、NetAppコンソールアカウントの1人のユーザーがNetAppサポートサイトアカウントをコンソールログインに関連付ける必要があります。NetAppサポートに登録する方法は、NetAppサポートサイト (NSS) アカウントをすでにお持ちかどうかによって異なります。

NSSアカウントをお持ちの既存顧客

NSS アカウントをお持ちのNetAppのお客様の場合は、コンソールからサポートに登録するだけです。

手順

1. 管理 > *資格情報*を選択します。
2. *ユーザー資格情報*を選択します。

3. **NSS** 資格情報の追加 を選択し、NetAppサポート サイト (NSS) の認証プロンプトに従います。
4. 登録プロセスが成功したことを確認するには、[ヘルプ] アイコンを選択し、[サポート] を選択します。

リソース ページには、コンソール アカウントがサポートに登録されていることが表示されます。

他のコンソール ユーザーは、ログインにNetAppサポート サイト アカウントを関連づけていない場合、同じサポート登録ステータスを表示しないことに注意してください。ただし、これはあなたのアカウントがサポートに登録されていないことを意味するものではありません。組織内の 1 人のユーザーがこれらの手順を実行していれば、アカウントは登録済みになります。

既存の顧客だが**NSS**アカウントがない

既存のライセンスとシリアル番号を持ち、NSS アカウントを持っていない場合、既存のNetApp顧客は、NSS アカウントを作成し、それをコンソール ログインに関連付ける必要があります。

手順

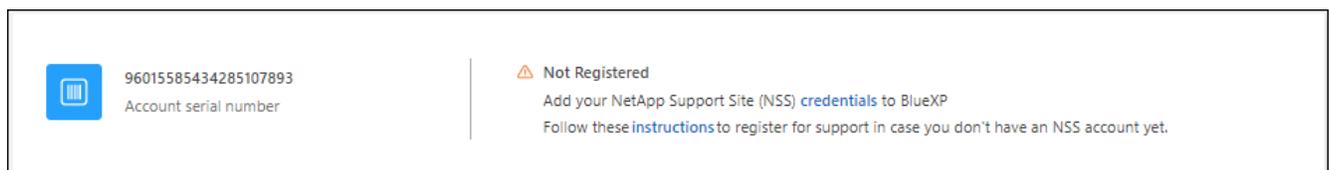
1. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"
 - a. 適切なユーザー レベル (通常は * NetApp顧客/エンド ユーザー*) を選択してください。
 - b. 上記で使用したコンソール アカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより、アカウント処理が高速化されます。
2. 以下の手順を実行して、新しいNSSアカウントをコンソールログインに関連付けます。NSSアカウントをお持ちの既存顧客。

NetAppの新着情報

NetAppを初めて使用し、NSS アカウントをお持ちでない場合は、以下の手順に従ってください。

手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。
2. サポート登録ページからアカウント ID シリアル番号を見つけます。



3. 移動先 "[NetAppのサポート登録サイト](#)"私は登録済みの**NetApp**顧客ではありません を選択します。
4. 必須フィールド (赤いアスタリスクが付いているフィールド) に入力します。
5. 製品ライン フィールドで、**Cloud Manager** を選択し、該当する請求プロバイダーを選択します。
6. 上記の手順 2 からアカウントのシリアル番号をコピーし、セキュリティ チェックを完了して、NetApp のグローバル データ プライバシー ポリシーを読んだことを確認します。

この安全な取引を完了するために、指定されたメールボックスに電子メールが直ちに送信されます。検証メールが数分以内に届かない場合は、必ずスパム フォルダーを確認してください。

7. メール内からアクションを確認します。

確認すると、リクエストがNetAppに送信され、NetAppサポート サイトのアカウントを作成することが推奨されます。

8. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"
 - a. 適切なユーザー レベル (通常は * NetApp顧客/エンド ユーザー*) を選択してください。
 - b. 上記で使用したアカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより処理速度が向上します。

終了後の操作

このプロセス中に、NetAppから連絡が来るはずですが、これは、新規ユーザー向けの1回限りのオンボーディング演習です。

NetAppサポートサイトのアカウントを取得したら、以下の手順を実行して、アカウントをコンソールログインに関連付けます。[NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

Cloud Volumes ONTAPサポートに NSS 認証情報を関連付ける

Cloud Volumes ONTAPの次の主要なワークフローを有効にするには、NetAppサポート サイトの認証情報をコンソール アカウントに関連付ける必要があります。

- 従量課金制のCloud Volumes ONTAPシステムをサポート対象として登録する

システムのサポートを有効にし、NetAppテクニカル サポート リソースにアクセスするには、NSS アカウントを提供する必要があります。

- BYOL (個人ライセンス使用) 時にCloud Volumes ONTAP を導入する

コンソールがライセンス キーをアップロードし、購入した期間のサブスクリプションを有効にするには、NSS アカウントを提供する必要があります。これには、期間更新の自動更新が含まれます。

- Cloud Volumes ONTAPソフトウェアを最新リリースにアップグレードする

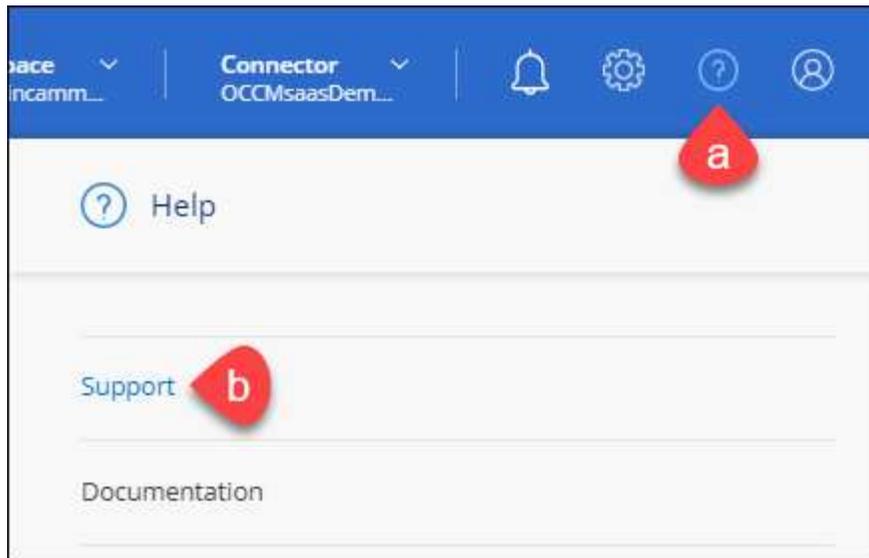
NSS 資格情報をNetAppコンソール アカウントに関連付けることは、コンソール ユーザー ログインに関連付けられている NSS アカウントとは異なります。

これらの NSS 資格情報は、特定のコンソール アカウント ID に関連付けられています。コンソール組織に属するユーザーは、サポート > **NSS 管理** からこれらの資格情報にアクセスできます。

- 顧客レベルのアカウントをお持ちの場合は、1つ以上の NSS アカウントを追加できます。
- パートナー アカウントまたは再販業者アカウントをお持ちの場合は、1つ以上の NSS アカウントを追加できますが、顧客レベルのアカウントと一緒に追加することはできません。

手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。



2. *NSS管理 > NSSアカウントの追加*を選択します。
3. プロンプトが表示されたら、[続行] を選択して、Microsoft ログイン ページにリダイレクトします。

NetApp は、サポートとライセンスに固有の認証サービスの ID プロバイダーとして Microsoft Entra ID を使用します。

4. ログイン ページで、NetAppサポート サイトに登録した電子メール アドレスとパスワードを入力して、認証プロセスを実行します。

これらのアクションにより、コンソールはライセンスのダウンロード、ソフトウェア アップグレードの検証、将来のサポート登録などに NSS アカウントを使用できるようになります。

次の点に注意してください。

- NSS アカウントは顧客レベルのアカウントである必要があります (ゲスト アカウントや一時アカウントではありません)。顧客レベルの NSS アカウントを複数持つことができます。
- パートナー レベルのアカウントの場合、NSS アカウントは 1 つだけ存在できます。顧客レベルの NSS アカウントを追加しようとしたときにパートナー レベルのアカウントが存在する場合は、次のエラー メッセージが表示されます。

「異なるタイプの NSS ユーザーがすでに存在するため、このアカウントでは NSS 顧客タイプは許可されません。」

既存の顧客レベルの NSS アカウントがあり、パートナー レベルのアカウントを追加しようとする場合も同様です。

- ログインが成功すると、NetApp はNSS ユーザー名を保存します。

これは、メールにマッピングされるシステム生成の ID です。*NSS管理*ページでは、... メニュー。

- ログイン認証トークンを更新する必要がある場合は、... メニュー。

このオプションを使用すると、再度ログインするよう求められます。これらのアカウントのトークンは 90 日後に期限切れになることに注意してください。これを知らせる通知が投稿されます。

法律上の表示

法的通知から、著作権情報、商標、特許などを確認できます。

著作権

["https://www.netapp.com/company/legal/copyright/"](https://www.netapp.com/company/legal/copyright/)

商標

NetApp、NetAppのロゴ、NetAppの商標一覧のページに掲載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。

["https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/"](https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/)

特許

現在NetAppが所有する特許の一覧は以下のページから閲覧できます。

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/11887-patentspage.pdf>

プライバシー ポリシー

["https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/"](https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/)

オープンソース

通知ファイルには、NetAppソフトウェアで使用されるサードパーティの著作権およびライセンスに関する情報が提供されます。

["NetAppコンソールに関するお知らせ"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。